

日刊大牟田 塚 記者 様



高田ファイターズ球団
代 表 西 原 博 徳

たびたびお世話になっております。よろしくお願いいたします。

鹿児島大会で優勝しました。

三池郡高田町、山門郡各町、大牟田市、柳川市の中学生で編成している硬式少年野球チームの高田ファイターズ球団（瀬口健監督）は8月25日（土）、26日（日）、27日（月）の3日にわたり、川内市総合運動公園野球場等で行われた「第14回全九州硬式少年野球鹿児島大会」で3度目の優勝を飾った。

主催：九州硬式少年野球連盟南九州支部

後援：九州硬式少年野球連盟、川内市、川内市商工会議所、川内市観光協会、NHK、MBC、KKB 等

協賛：日本交通公社

本大会は中学3年生最後の大会であるため関東や沖縄からの遠征組みも参加し、55チームによるトーナメント方式で行われた。

高田ファイターズは春のリーグ戦、夏の九州選手権、佐世保ドリームスターズ杯に優勝し上昇ムードで本大会に臨んだ。初日の第1回戦は優勝候補の一角、ガッツ鹿児島と対戦し2本のホームランなどで7対2と圧勝、2日目の第2回戦の相手は無名に近いフレンド鹿児島、気がゆるんだのか、なかなかヒットが出ず、ようやく7回の裏に同点に追いついた。延長9回の裏、連打により5対4逆転サヨナラ勝ちした。同日第3回戦の谷山サンボーイズ戦も3対2と逆転勝ち。2日目は苦しい試合の連続だった。

3日目の第4回戦は東京からの遠征チーム越谷Kクラブと対戦、動きの良いチームだったがファイターズは2回の裏にホームランとタイムリーを集中させ、8対1と5回コールド勝ち、準決勝の相手は筑後ドジャーズ、お互い手の内を知りつくした同士、逆転、逆転の大接戦だったが最終回、河野、角のタイムリーで7対6の逆転サヨナラ勝利を得た。決勝戦は下関マリナーズと対戦、これまでのモジモジした試合のうっぷんを晴らすかの様に初回から連打を浴びせ試合を優位に運んだ。投手の疲れもピークであり小刻みな継投で追撃をかわし優勝した。また、今大会のMVPに河野雅之選手が選ばれた。

西原代表談

3年生最後の大会でこのビッグタイトルを取れたことは本当にうれしいです。本大会には上昇ムードとは言え、3年生のみの11名という少人数で臨みました。炎天下の中、過酷なスケジュールを11名だけで3日間6試合をこなして優勝することがいかにむずかしいかを痛烈に感じました。瀬口監督のもと礼節をわきまえた、たくましい子供たちに成長したことを心から喜ぶたい。

優勝メンバーは次のとおり。

▽ 代表＝西原博徳▽監督＝瀬口健▽コーチ＝瀬口肇▽マネージャー＝中田雄二

▽ 選手＝吉永大志、西原健治、堤康博、久場川雄一、堤賢一、紫牟田嵩登、梅野太我、横枕友也、中田一機、河野雅之、角那樹、